

8 月 16 日：市場は警戒感から上値は重い

金曜日は、投資家が今後の悪材料を警戒する姿勢をとったため、前日からほぼ変わらずで引けた。ホーチミン取引所の VN 指数はわずか 0.06% 上昇しただけで、980 ポイントで引けた。同指数は 1 週間で 0.58% の上昇となった。

タインコン証券のレポートによると、金曜日に相場が伸び悩んだのは、直近で値を上げていた銘柄に売りが増えたためである。

小売、ハイテク、保険が特に売られた。vietstock.vn のデータによると、これらのセクターの下落率は 1.3~2.1% に達している。

引けにかけて売り圧力が高まったのは、投資家が高値警戒感が高まった銘柄を利益確定したためだと、タインコン証券は見ている。

これらの銘柄は短期的に大きく下落する可能性が高いと同社は見ている。

3 セクターの中でもトップ企業の下落が大きく、MWG が 2.2%、BVH が 1.7%、FPT が 1.9% の下落となった。

他に下落したセクターとしては、ヘルスケア、製薬、海産物加工、建設資材メーカーなどだった。

反対に、不動産、エネルギー・鉱山、食品・飲料、建設などは市場を下支えした。

外国人投資家は 2,280 億ドン（980 万ドル）を売り越し、鉄鋼の HPG、格安航空会社の VJC、銀行の VCB などの売りが目立った。

8 月は相場を下支えする目立った情報が無く、世界的にマクロ経済環境も不透明であり、タインコン証券は VN 指数が短期的には上昇しないと見ている。

外部要因から需要も弱く、市場に買いの機会を見出すのは難しいと同社は見ている。

短期的な国際イベントとしては、9 月の FRB は投資家にとって良いニュースがあると MB 証券は見ている。

テクニカル面では、VN 指数は短期的な底値の節目である 960 ポイントを付けたので、反転の余地はあるものの、上昇は緩やかなものになるだろうと MB 証券は見ている。

それゆえ、現在の市場は外国人投資家の売りが大きな課題であると VN ダイレクト証券は見ている。

直近で上昇した銘柄を売却するのは普通のこと、短期的な利益を出したことで投資家も余裕が生まれ、資金は銀行や証券に向かう可能性があると同社は見ている。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.67% 上昇し、102.35 ポイントで引けた。

同指数は今週 0.43% の下落となった。

金曜日は両取引所合計で出来高 2 億 12 百万株、売買代金 5.2 兆ドンを超えた。。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。